

科目名	音楽基礎 1							年度	2026
英語科目名	Music Fundamentals 1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	根本 英子		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ピアニスト・FMパーソナリティ・中学高等学校講師（音楽）・音楽教室講師			
【科目の目的】 スタッフとしてコンサートにかかわる現場において、楽譜が読めることは大切なスキルである。経験者も未経験者も楽譜を追うことができる力を養う。また、将来現場において、信頼度の高いスタッフになるための知識を増やす。									
【科目の概要】 ドレミ・・・を読むことだけにとらわれず、リズム、コードネーム、楽語等のさまざまな知識から多角的に楽譜を捉えられるようになるために、広い範囲で楽譜に関する知識を体得させる。また、ステージにかかわるものとして、楽器の知識やその扱い方、ステージの設営、などコンサートが完成するまでに必要な知識も得る。									
【到達目標】 A. 楽譜が読めるようになる＝ドレミ・・・以外の要素からもアプローチできるようになる。 B. 音楽を構成しているいろいろな要素を知る＝楽譜に書かれている全てのことに興味を持つ。 C. 音楽に関する知識を増やす＝楽譜以外のことにも触れ、スキルの高いスタッフを目指す。									
【授業の注意点】 授業時限数の4分の3以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ト音記号・ヘ音記号双方で音が読め、リズム、楽語、Key、拍子など、楽譜に関する知識を体得している。	ト音記号・ヘ音記号双方で楽譜を読むことができる。	楽譜を階名で読むことができる。	講師の補助を受けて楽譜を階名で読むことができる。	どの要素からも楽譜を追うことができない。				
到達目標 B	楽譜に書かれていることに興味を持ち、自ら積極的に調べて知ろうとする姿勢がある。	授業で学んだことを理解し、素早く課題等をこなすことができる。	授業で学んだ内容を理解することができる。	講師の補助を受け、授業で学んだ内容について課題をこなすことができる。	授業で学んだ内容について理解ができず、課題をこなすことができない。				
到達目標 C	教科書にあることや授業で学んだこと以外にも関心を持ち積極的に知識を増やすことができる。	授業で触れたことについて理解し、自身の経験と照らし合わせたり想像したりすることができる。	コンサートに関する内容について興味を持ち、理解することができる。	コンサートに関する内容について想像し理解することができない。	コンサートに関する内容に興味を持って積極的に接することがない。				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 適宜プリントを配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験、授業課題									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽基礎 1			年度	2026
英語表記		Music Fundamentals 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	授業の目的や内容を知る。自分と音楽との関わりを認識してみる。	1 自己紹介と実績	講師のキャリア等を紹介し、授業との関連を知る。	3	
			2 シラバス解説	授業の主旨を理解し、これからの学びの目的意識を持てる。		
			3 自己紹介文の作成	音楽と自身の関係を講師に対して紹介する		
2	写譜	楽譜を深く観察する	1 楽譜を見る	どのような要素で楽譜が構成されているかを知る。	3	
			2 写譜をする	楽譜を書き写す経験によりしっかりと観察することができる		
			3 パーツを書き出す	楽譜を構成するいろいろな要素を書きだすことによりこれから学ぶことを知る		
3	音符について	音符の書き方、音部記号、五線について知識を深める	1 音符を書いてみる	正しく、きれいな音符の書き方を学ぶ	3	
			2 音部記号について	ト音記号、ヘ音記号や特殊な音部記号などを知る		
			3 五線の構成について	それぞれの名称、意味などを理解する		
4	音名について	イタリア語、英語、日本語での音名を知る	1 音の名前	ドレミ以外の読み方を知る	3	
			2 音符とリンクさせる	楽譜に書かれた音符と音名をリンクさせてみる		
			3 派生音について	＃や♭が付いた音についても学習する		
5	音価について	音の長さについて学習する	1 音符の長さの仕組み	4分音符、8分音符など、名称と長さについて理解する	3	
			2 休符について	休符についても同じように理解する		
			3 音符・休符の計算	音符や休符の計算ができるようになる		
6	テンポについて	テンポとは何かを知る	1 M.M. (BPM) について	メトロノーム記号、BPMについて理解する	3	
			2 楽語	テンポを表す楽語を知る		
			3 テンポ感を持つ	自分の好きな曲などで、テンポ感を持てるようになる		
7	拍子について	拍子とは何かを知る	1 拍子について	拍子とは何か、を理解する	3	
			2 拍子を考える	自分の好きな曲が何分の何拍子か考えてみる		
			3 曲の長さの計算	拍子、テンポ、小節数から演奏時間が計算できる		
8	繰り返しの記号	省略された楽譜が正確に追えるように	1 いろいろな記号	いろいろな種類の省略の記号を知る	3	
			2 記号を書く	繰り返しの記号を書けるようになる		
			3 小節数のカウント	繰り返しの記号にそって、総小節数を数えられるようになる		
9	習熟の確認	ここまで学習したことの整理	1 五線・楽譜について	楽譜を構成するパーツの名称などがわかっているか確認する	3	
			2 音符・休符について	音価が理解できていて、音符や休符の計算ができるか確認する		
			3 テンポ・拍子について	小節数を数え、演奏時間の計算ができていないか確認する		
10	楽器の名前	省略された楽器の名前がわかるようになる	1 スコアなどに書かれる楽器の名前	省略されている書き方を書き出してみる	3	
			2 楽器の名前の一覧表に書き込む	省略された書き方の一覧表を完成させる		
			3 写真集を見る	代表的な楽器の写真を見ながら名前を一致させる		
11	音程について	2音間の音程の数え方を知る	1 音程とは	一般的な距離の表し方と大きく違う点を把握する	3	
			2 数えてみる	いろいろな音程を数えることができる		
			3 音程の種類を知る	同じ数字の音程であってもいろいろな種類があることを理解する		
12	楽語について	よく見られる楽語を知る	1 楽語とは	楽語は強弱、速度、表情など様々なタイプがあることを理解する	3	
			2 代表的な楽語	よく見られる楽語に触れてみることで楽語とは何かを学ぶ		
			3 一覧表に書き込む	代表的な楽語を一覧表にまとめる		
13	スコアリーディング	楽譜を見ながら実際に楽曲を聴く	1 楽曲を聴く	Tomorrowを聴いてみる	3	
			2 楽譜を見ながら聴く	小節を数えたり、テンポや拍子を確認したりしながら楽曲に触れる		
			3 演奏箇所をあてる	講師が指示した場所を楽譜上にチェックしてみる		
14	リズムについて	リズム譜が読めるようになり、手拍子で演奏できるようになる	1 リズムの種類	代表的なリズムを知る	3	
			2 リズム譜を読む	リズム譜を書いて、手拍子で打ってみる		
			3 リズムの演奏	2パートに分かれたリズム譜を二人一組で演奏してみる		
15	試験対策	前期に学習した内容について試験準備をする	1 授業を振り返る	前期に学習した内容を確認する	3	
			2 課題を解いてみる	自分がどこまで理解できているか確認する		
			3 質問等	わからない点など、そのままにせず質問して解決する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等